

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名【新】県産品海外重点市場販路拡大ステップアップ支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 海外展開係 電話番号：058-272-1111(内3812)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 11,960 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 11,960 | 4,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,510 |
| 決定額 | 11,960 | 4,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,510 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年の物価や人件費の高騰などの国内情勢への対応に加え、人口減少などに伴う国内市場は縮小への対応など、県内県産品事業者は多くの課題を抱えており、この環境下で、持続可能な県産日本酒の流通販売には、国内のみならず海外市場に目を向け、継続的な支援を行うことが必要である。

具体的に県産品を海外へ売り込んでいくためには、各事業者の経験やノウハウの蓄積状況において、商流の確保、販売数の拡大などを行う必要があるが、県内中小企業がいちから行うにはハードルが高く、段階的かつ継続的に取り組みを支援していく必要があるため、重点市場ごと段階的に海外販路拡大を支援する。

(2) 事業内容

県産品海外販路拡大ステップアップ事業

- ・海外販路拡大チャレンジプログラム事業

重点市場において海外への輸出経験の浅い事業者を対象に、海外販路拡大へのチャレンジを支援

- ・海外販路拡大 2ndステッププログラム事業

重点市場におけるチャレンジプログラム参加事業者の課題解決に向けた取組みを支援

(3) 県負担・補助率の考え方

県内企業がいちから海外販路開拓を行うのはハードルが高い。県が率先して販路開拓のきっかけを作り、海外展開の経験が乏しく、貿易実務に疎い企業等が海外展開に積極的に取り組む呼び水とするため、県事業として実施することが適当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-------------------------|
| 報償費 | 96 | プロポーザル実施にかかる評価員謝金 |
| 旅費 | 1,668 | 海外販路開拓のための出張旅費等 |
| 需用費 | 720 | PR用県産品購入等 |
| 役務費 | 576 | 通訳経費、海外携帯電話通話料等 |
| 委託料 | 8,900 | 重点市場における県産品海外プロモーション委託等 |
| 合計 | 11,960 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
 - ⑤「『清流の国ぎふ』ブランド」づくり
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 5 県産品の世界展開
 - (1) 県産品の世界展開に向けた販路開拓・拡大支援
- ・第2期SDGs未来都市計画
 - II 自治体SDGsの推進に資する取組
 - 1 自治体SDGsの推進に資する取組
 - (2) 経済面：「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

(2) 国・他県の状況

地域産品の地産外商・輸出拡大・高付加価値化の必要性は、「地方創生2.0基本構想」(R7.6.13閣議決定)における政策5本柱のひとつ「稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～」において示されている。

(3) 後年度の財政負担

海外市場を対象とした岐阜県PRプロモーションは、一過性に終わらせるのではなく、現地における認知度やディストリビューター(流通事業者)等からの信頼を得て真のパートナーとなるため、少なくとも3年程度は、継続的に事業を実施する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

公的機関である県が主体となって海外販路を開拓することにより、海外においても県産品の信頼度が高まり、「岐阜ブランド」の確立に繋がり、訴求力が高まる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

和食をはじめとした日本文化が人気となっている重点市場を中心に、陶磁器、刃物及び加工食品などの岐阜県産品の知名度向上、「岐阜県ブランド」の強化及び海外販路開拓につなぐ。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R6) | R7年度 実績 | R8年度 目標 | R9年度 目標 | 終期目標 (R10) | 達成率 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|------------|---------------|-----|
| | | | | | | |
| 海外向けに新たな取引を実現したのべ事業者数 (社) | - | - | 3 | 6 | 10 | - |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> |
| 令和5年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p> |
| 令和6年度 | <p>令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p> | |
| (評価) | <p>3 近年、経済のグローバル化・ボーダレス化に伴い、県内中小企業の国際化は産業政策上極めて重要な課題となっており、一層の支援強化が必要である。</p> |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 これまでの海外展開の取組みやネットワークをさらに拡大・充実させ、一部の先進企業だけでなく、モノづくり産地としての底上げに繋げる必要がある。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も県のネットワークを継続的に活用して、海外バイヤー等からの信頼を得ながら、一層効果的な商談の機会を創出し、海外販路開拓に意欲のある県内事業者を引き続き支援する。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | <p>【〇〇課】</p> |